

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

代表取締役会長兼社長 CEO 家次 恒
2020年11月6日

Index

1. 2021年3月期第2四半期 決算概要
2. 2021年3月期 業績予想

(参考資料)

- 事業別・品目別売上高
- 所在地別実績（売上高・営業利益）

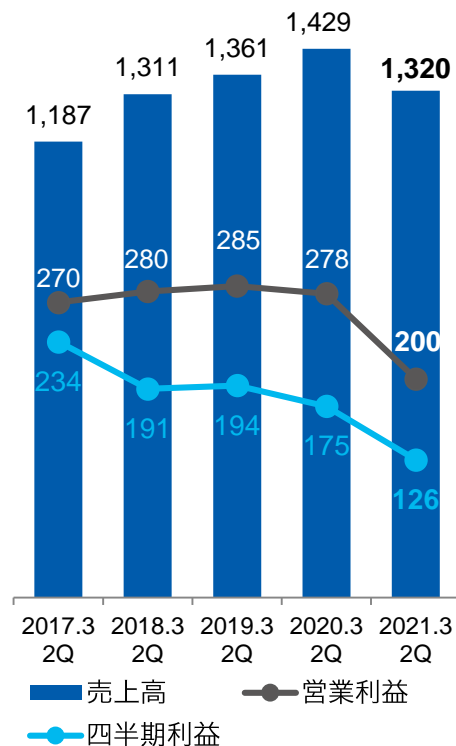
当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

本資料のうち、売上予想などに記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績などが予想数値と大きく異なる可能性があります。

1.

2021年3月期第2四半期 決算概要

(億円)



	2021年3月期2Q	前年同期
1USD	106.9円	108.6円
1EUR	121.3円	121.4円
1CNY	15.3円	15.7円

(億円)

	2021年3月期 2Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	1,320.8	100%	1,429.9	100%	92.4%
売上原価	647.9	49.1%	654.5	45.8%	99.0%
販売費及び一般管理費	380.7	28.8%	400.3	28.0%	95.1%
研究開発費	97.4	7.4%	104.6	7.3%	93.2%
その他の営業損益	5.4	0.4%	7.6	0.5%	71.2%
営業利益	200.0	15.1%	278.0	19.4%	72.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	126.5	9.6%	175.9	12.3%	71.9%

- **売上高** COVID-19の影響により、全地域において試薬売上が減少し、減収
- **営業利益** 売上減による粗利減少や、試薬売上の減少による原価率の悪化に加え、為替の影響もあり、減益
 - 為替の影響 売上高 △21.1億円 営業利益 △11.7億円
 - 前年同期為替レート適用の場合 売上高 93.9% 営業利益 76.2%
- **四半期利益** 為替差損は減少するも、営業利益の減少により、減益
 - 為替差損益 △7.0億円 (前年同期 △16.7億円)

単四半期業績推移（1Q→2Q）

売上・原価率の改善により、1Qと比較すると収益性は改善

（億円）

1Q (4月-6月)

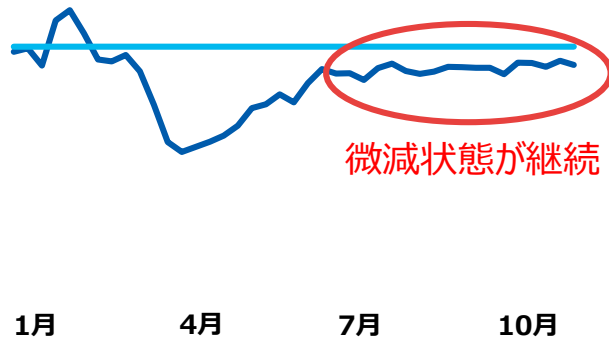
2Q (7月-9月)

	1Q (4月-6月)			2Q (7月-9月)		
	2021年3月期	構成比	前年同期比	2021年3月期	構成比	前年同期比
売上高	605.1	100.0%	△11.7%	715.7	100.0%	△3.9%
売上原価	298.8	49.4%	△5.6%	349.0	48.8%	3.3%
販売費及び 一般管理費	189.2	31.3%	△8.6%	191.5	26.8%	△0.9%
研究開発費	49.1	8.1%	△1.6%	48.3	6.8%	△11.6%
その他の営業損益	1.7	0.3%	56.9%	3.6	0.5%	△43.7%
営業利益	69.5	11.5%	△38.3%	130.4	18.2%	△21.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	44.8	7.4%	△33.0%	81.6	11.4%	△25.1%

ヘマトロジーテスト数の推計

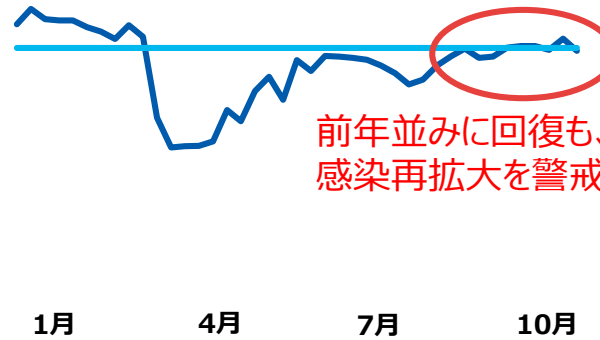
回復傾向が強まるも、米州、APで微減状態が継続
下期へ向け、各地での感染再拡大を警戒

米州



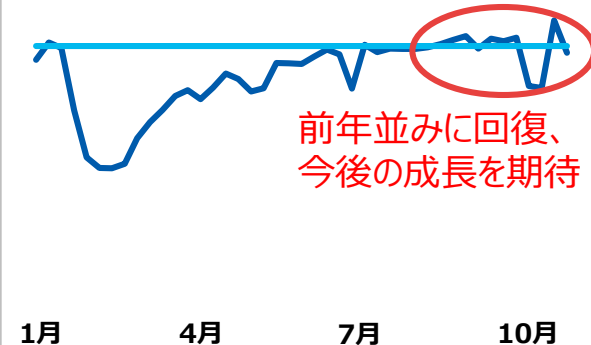
EMEA

※欧州を中心とした状況



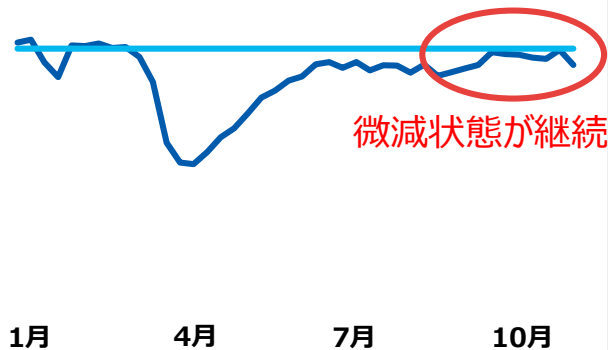
中国

※3級病院を中心とした状況

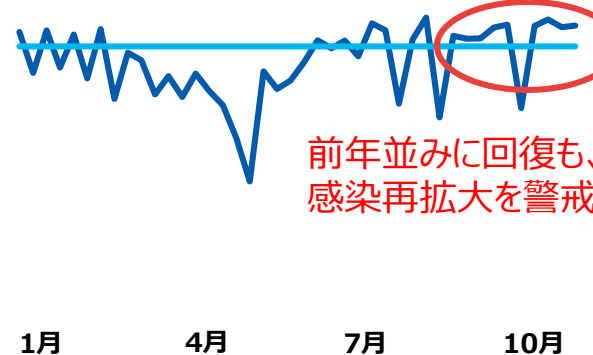


AP

※オセアニアを中心とした状況



日本



— 前年度平均

※ 主に先進国を中心に大規模病院、
検査センターにおけるテスト数の
トレンドを集計

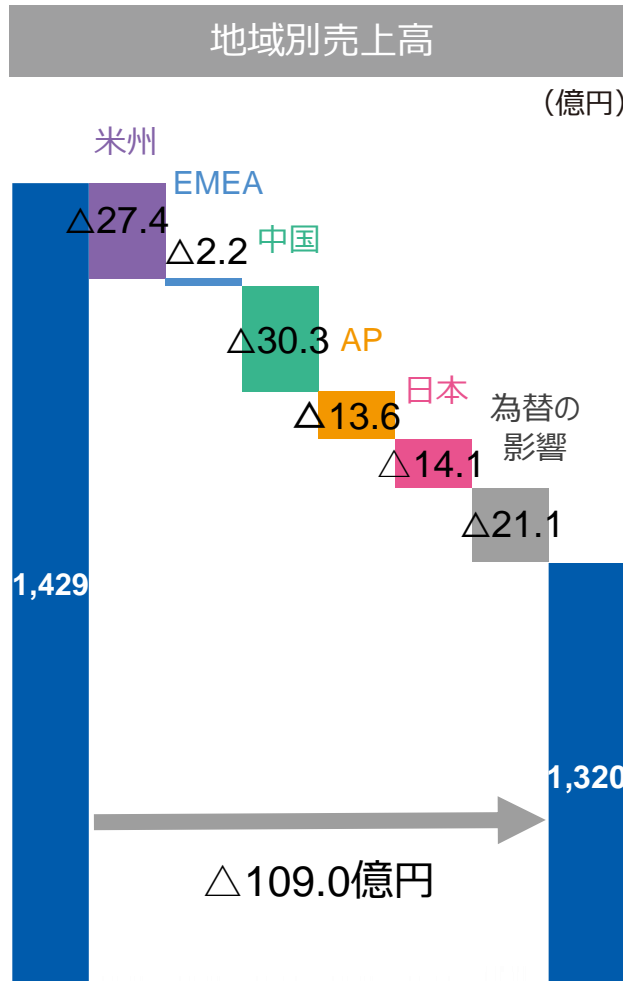
売上高の増減要因（地域別）

全地域で試薬売上が減少し、減収

(億円)

地域別売上高

(億円)



2020.3 2Q

2021.3 2Q

2021年3月期 2Q

前年同期比

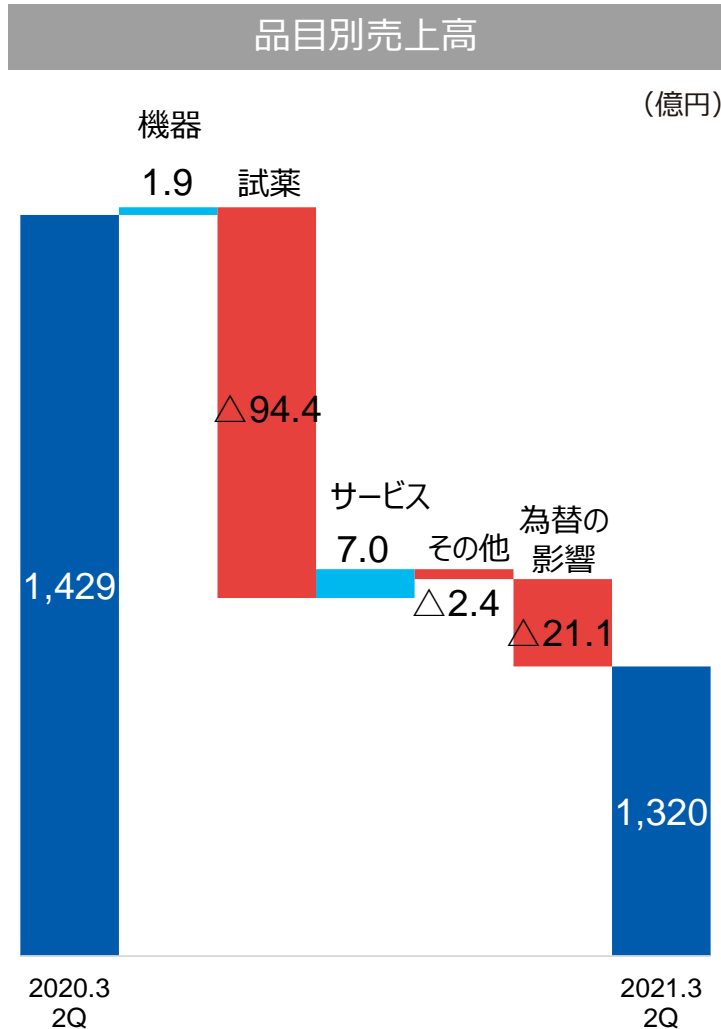
	実績	構成比	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	1,320.8	100.0%	92.4%	93.9% [※]
米州	293.6	22.2%	89.6%	91.0%
EMEA	368.8	27.9%	98.2%	98.3%
中国	336.4	25.5%	89.9%	92.1%
AP	109.1	8.3%	87.2%	89.1% [※]
日本	212.7	16.1%	93.8%	-

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

売上高の増減要因（品目別）

試薬売上は減収も、機器売上は中国やEMEAで伸長し、微増

(億円)



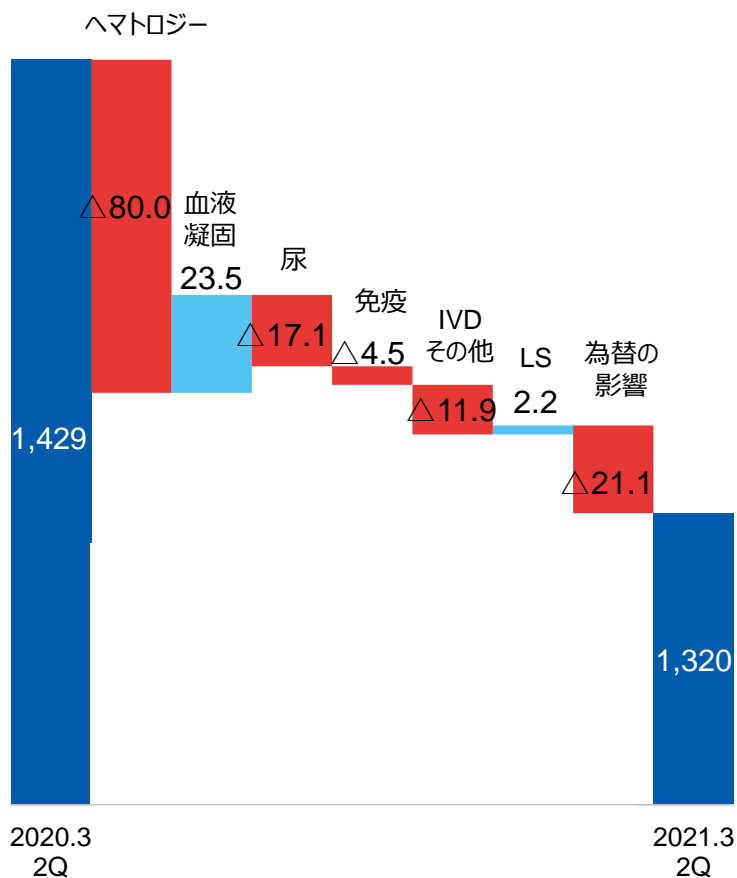
	2021年3月期 2Q		前年同期比		前年同期比	前年同期比 (前年レト)
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	1,320.8	100.0%	1,429.9	100.0%	92.4%	93.9%
機器	355.2	26.9%	360.2	25.2%	98.6%	100.6%
試薬	737.1	55.8%	842.8	58.9%	87.5%	88.8%
サービス	181.9	13.8%	177.1	12.4%	102.7%	104.0%
その他	46.5	3.5%	49.7	3.5%	93.5%	95.1%

売上高の増減要因（事業別）

ヘマトロジー、尿、免疫は減収も、
COVID-19重症化モニタリング指標として活用される血液凝固分野は伸長

事業別売上高

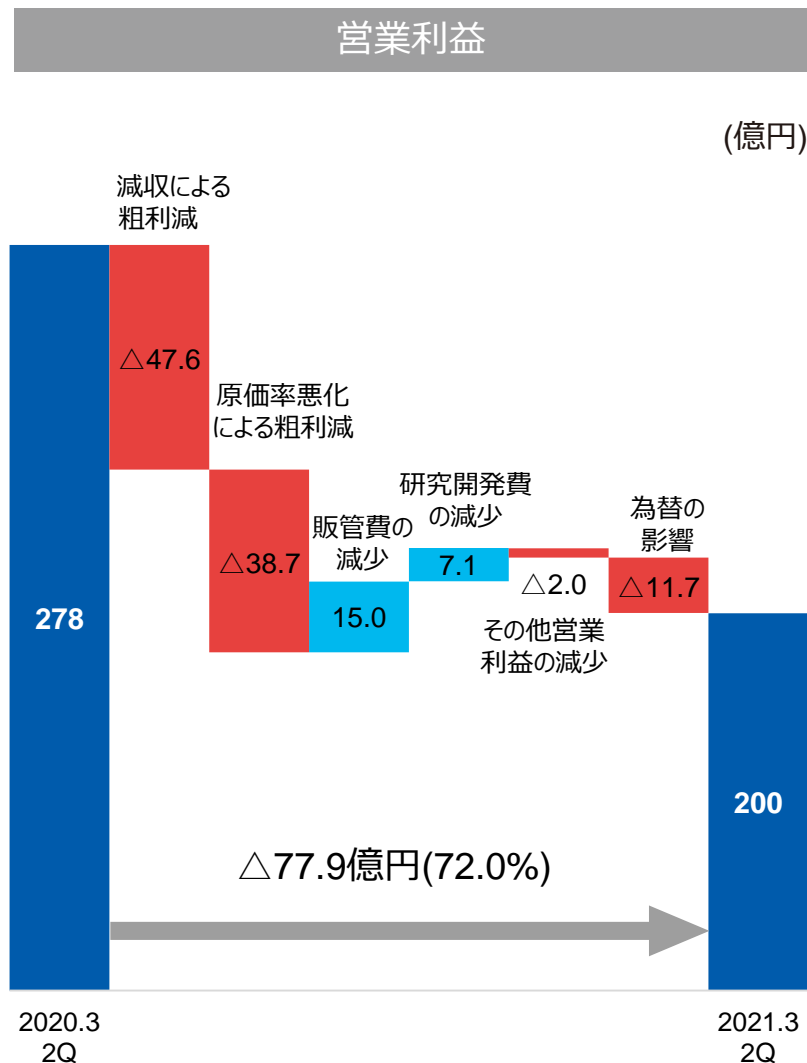
(億円)



(億円)

	2021年3月期 2Q		前年同期比		前年同期比	前年同期比 (前年レト)
	実績	構成比	実績	構成比		
売上	1,320.8	100.0%	1,429.9	100.0%	92.4%	93.9%
ヘマトロジー	801.2	60.7%	894.7	62.6%	89.5%	91.1%
血液凝固	247.4	18.7%	228.6	16.0%	108.2%	110.3%
尿	81.6	6.2%	100.3	7.0%	81.4%	82.9%
免疫	63.2	4.8%	68.5	4.8%	92.3%	93.4%
IVDその他	75.6	5.7%	88.0	6.1%	85.8%	-
LS	51.5	3.9%	49.5	3.5%	104.0%	104.6%

営業利益の増減要因



※下記数字は為替の影響を除く

- 減収による粗利への影響：47.6億円減少
- 原価率：2.9pt悪化
 - ・ プロダクトミックスの変化（試薬売上構成比低下）：1.9pt悪化
 - ・ ヘマトロジー以外の売上構成比増加などによる
機器・試薬の原価率悪化：1.5pt悪化
 - ・ 中国や米州におけるサービスコストの減少：0.4pt改善
- 販売管理費：15.0億円減少
 - ・ 2Qに入り各地域で販促活動再開が進むも、依然としてCOVID-19の影響により活動費が前年と比べ減少
- 研究開発費：7.1億円減少
 - ・ 前年同期にバイオ診断薬拠点の初期費用の計上があったことに加え、一部ライフサイエンス製品の事業化に伴い、ライセンス料が原価へ組み替えになったことなどにより、減少
- 為替の影響：11.7億円のマイナス影響

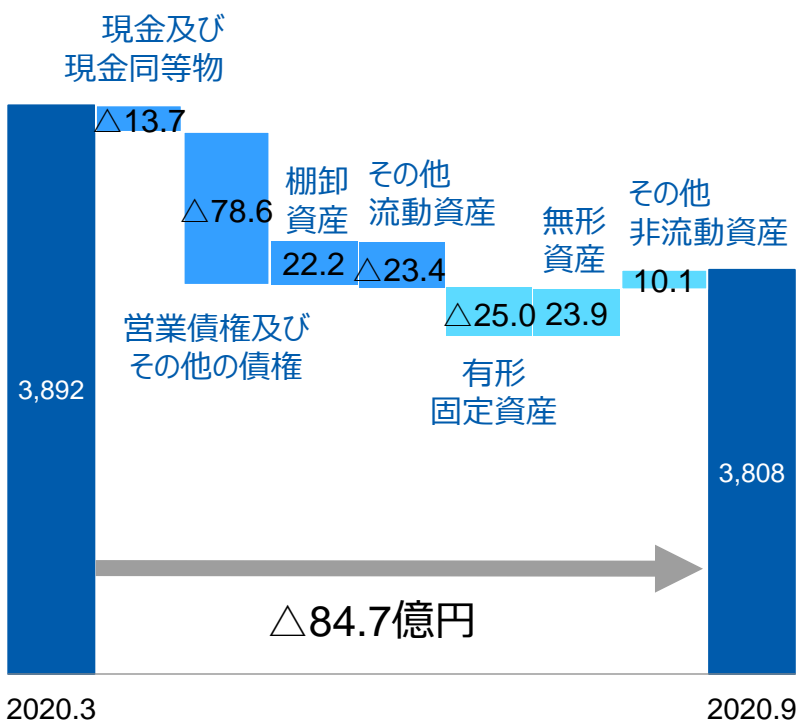
連結財政状態計算書の増減要因

資産

(億円)

流動資産 $\triangle 93.6$

非流動資産 $+ 8.9$

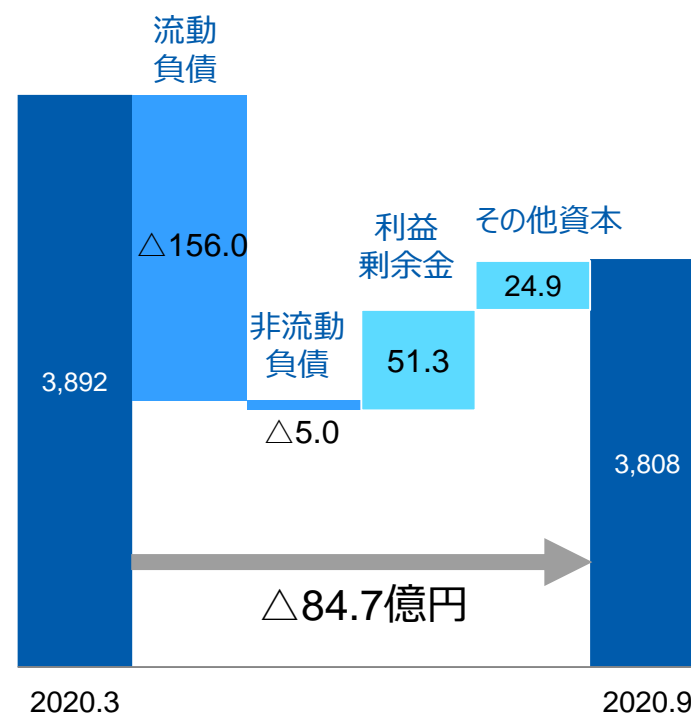


負債・資本

(億円)

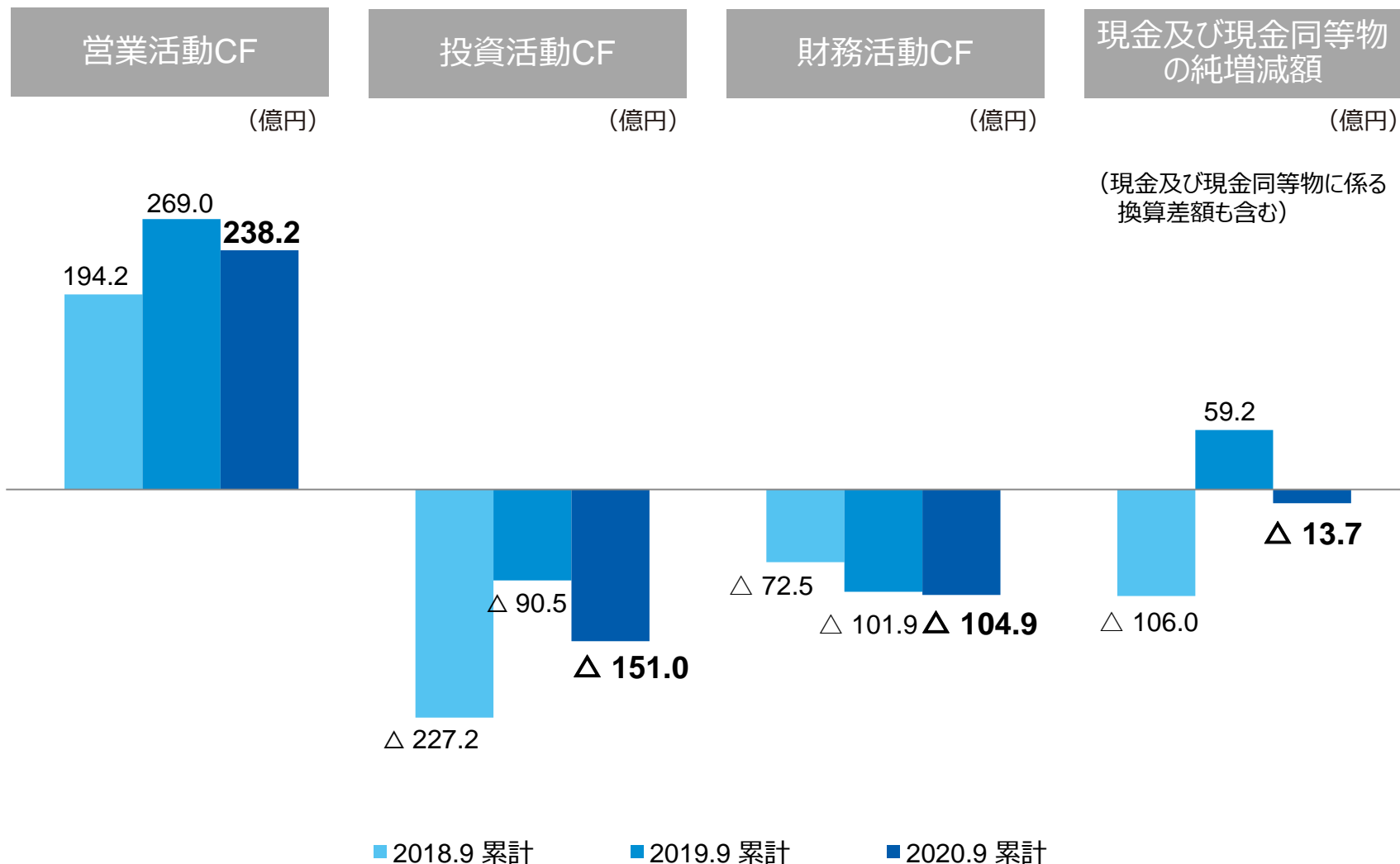
負債 $\triangle 161.0$

資本 $+ 76.3$



※ IFRS16適用影響：有形固定資産、流動負債、非流動負債に影響

キャッシュフローの推移



※ IFRS16適用影響：2020.3の営業活動CF、財務活動CF

IVD事業

- EMEA最大の検査センターグループとヘマトロジー分野において長期契約締結
- 血液凝固検査分野の新製品「全自動血液凝固測定装置 CN-6500/CN-3500」を発売（日本）
- Flow Cytometer XF-1600（研究用）を発売（北米）



ライフサイエンス事業

- 高感度デジタルPCR法を用いたリキッドバイオプシーによる大腸がんRAS遺伝子変異検査が保険適用（日本）
- OSNA™法による乳がんリンパ節転移検査システムの発売を開始（中国）

COVID-19関連事業（日本）

- 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）抗原検出試薬の製造販売承認を申請
- 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）研究用抗体受託サービスと研究用抗体検出試薬を発売
- 神戸市、シスメックス、エスアールエルが神戸医療産業都市内にCOVID-19のPCR検査体制を構築し運用開始

その他

- 手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」が製造販売承認取得、保険適用（日本）
- グローバル共通のジョブ型人材マネジメントシステムを導入
- 企業体質の強化や新たな価値創造に向け、デジタル化プロジェクトの対象領域および投資規模を拡大

製品・サービスを通じた医療課題解決 （COVID-19検査体制拡充への貢献）



全自動免疫測定装置HISCLを用いたアッセイ系を構築

■ 抗原検査の開発

- 9月末に製造販売承認を申請（日本）
- 鼻咽頭ぬぐい液での測定
（鼻腔ぬぐい液・だ液への適用拡大を開発中）

■ 抗体検査の開発

- 研究用抗体受託測定サービス開始および、
研究用抗体検出試薬を発売
- 疫学調査など研究用途で提供

■ 重症化予測／治療モニタリング検査の開発

- COVID-19に関連が高いとされる6項目について、
研究用受託測定サービスを提供



全自動免疫測定装置
HISCL-5000

※ 当社免疫測定装置では**17分/検体（最大
200検体/時間）**、**高感度測定**が可能

■ PCR検査体制構築

「シスメックスBMAラボラトリー」

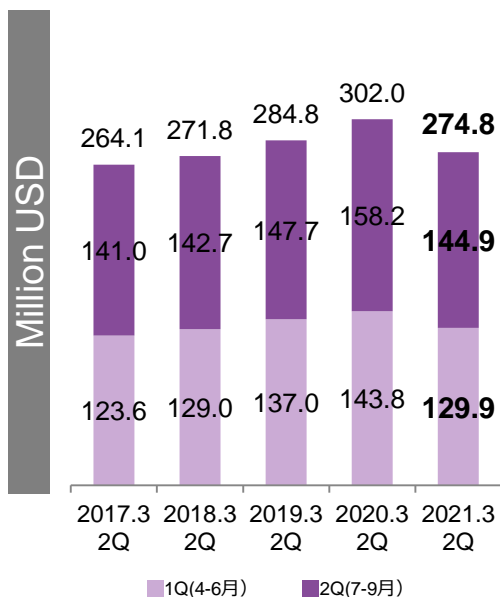
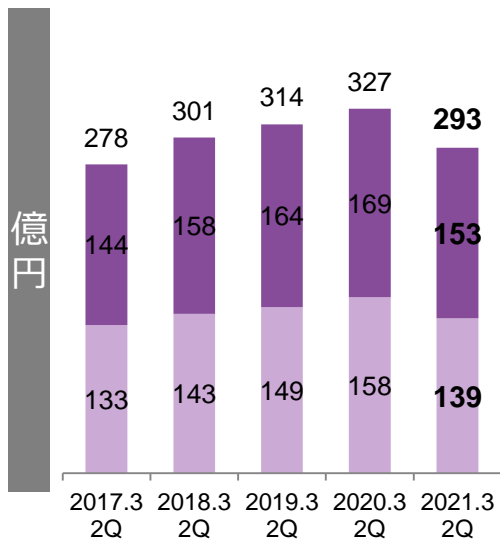
- 神戸市、エスアールエルと連携し体制構築
- 神戸市から検体を受託
（介護施設職員などへも対象拡大）

■ 自動PCR検査ロボットシステムの共同開発

- 空港などでの利用などを目指し、川崎重
工業、メディカロイドと共同で開発
- マニュアル業務の低
減による二次感染
の防止および迅速
な検査体制確立



売上高



(億円)

	2021年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	293.6	327.8	89.6%	91.0%
機器	76.6	89.3	85.8%	87.1%
試薬	131.2	152.6	86.0%	87.4%
サービス・その他	85.6	85.8	99.8%	101.4%

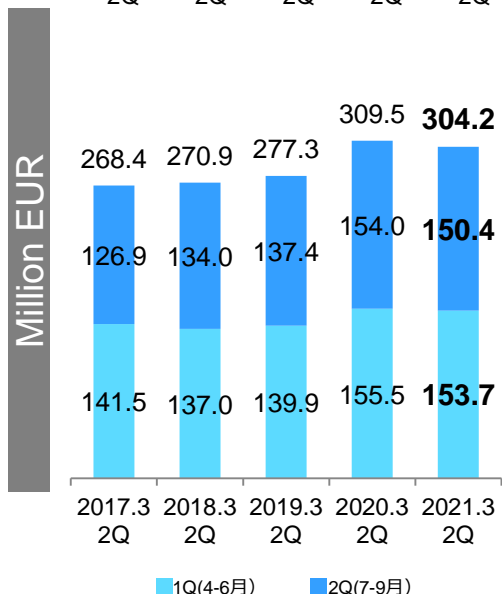
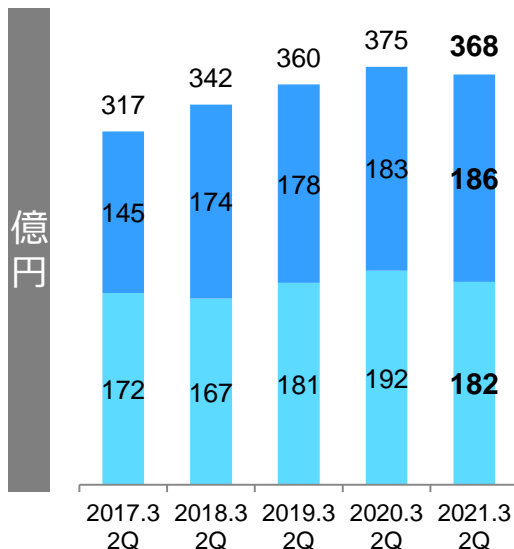
北米市場において血液凝固分野が好調に推移するも、COVID-19の影響を受け、ヘマトロジー分野を中心に試薬が減少し、減収

- 機器：北米において血液凝固分野が堅調に推移するも、ヘマトロジー分野の導入遅延があり、減収
- 試薬：北米、中南米共にヘマトロジー分野においてCOVID-19の影響により、減収

トピックス

- 米国大統領選挙後のヘルスケア市場の動向を注視
- 北米市場において、尿分野に関する独占販売契約をSiemens Healthineersと締結、2Q末より販売開始

売上高



(億円)

	2021年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	368.8	375.8	98.2%	98.3%
機器	108.7	102.5	106.1%	106.5%
試薬	199.0	216.8	91.8%	91.8%
サービス・その他	61.0	56.4	108.3%	108.2%

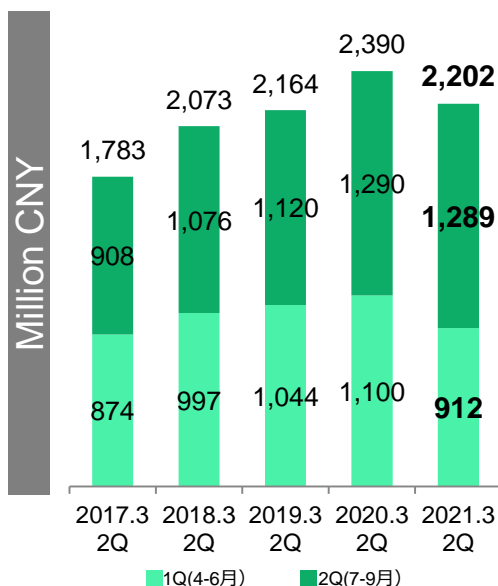
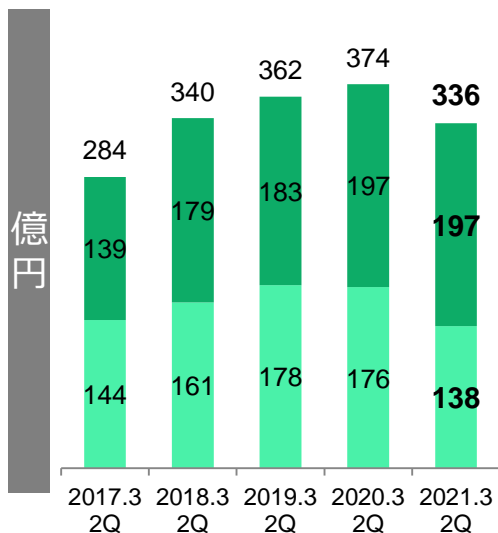
ヘマトロジー・血液凝固分野の機器売上が好調に推移するも、COVID-19の影響を受け試薬売上が減少し、微減

- 機器：大手検査センター案件によるヘマトロジー分野の伸長や血液凝固分野がロシアなど直販エリアにおいて好調に推移し、増収
- 試薬：血液凝固分野は堅調に推移するも、COVID-19の影響によりヘマトロジー・尿・LS分野の売上が減少し、減収

トピックス

- 欧州の主要国において10月中旬以降に非常事態が宣言され、各地でCOVID-19再流行を懸念

売上高



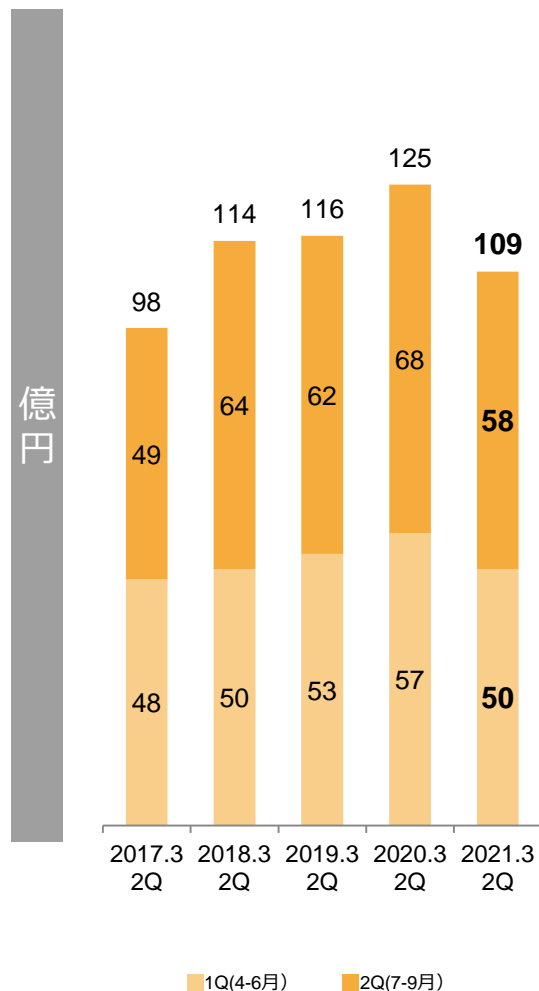
(億円)	2021年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	336.4	374.1	89.9%	92.1%
機器	111.4	93.9	118.6%	121.6%
試薬	190.8	242.1	78.8%	80.7%
サービス・その他	34.1	38.0	89.8%	92.1%

機器売上は伸長するも、ヘマトロジー分野を中心に試薬売上が減少し、減収

- 機器：COVID-19の影響によりCRPの検査需要が増加し、好調に推移したヘマトロジー分野に加え、尿・免疫分野の売上が伸長し、増収
- 試薬：血液凝固分野の売上伸長に加え、ヘマトロジーや尿、免疫分野でも改善が見られるが、1Qの減収影響が大きく、2Q累計でも減収

トピックス

- 乳がんのリンパ節転移検査システム（OSNA法）のキックオフイベントを開催
- 現地生産のヘマトロジー機器XN-10xを4Qより発売開始予定



(億円)	2021年3月期 2Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	109.1	125.1	87.2% (89.1%)
機器	26.3	28.1	93.4%
試薬	73.2	84.9	86.2%
サービス・その他	9.6	12.0	79.9%

()は為替の影響を除いた場合

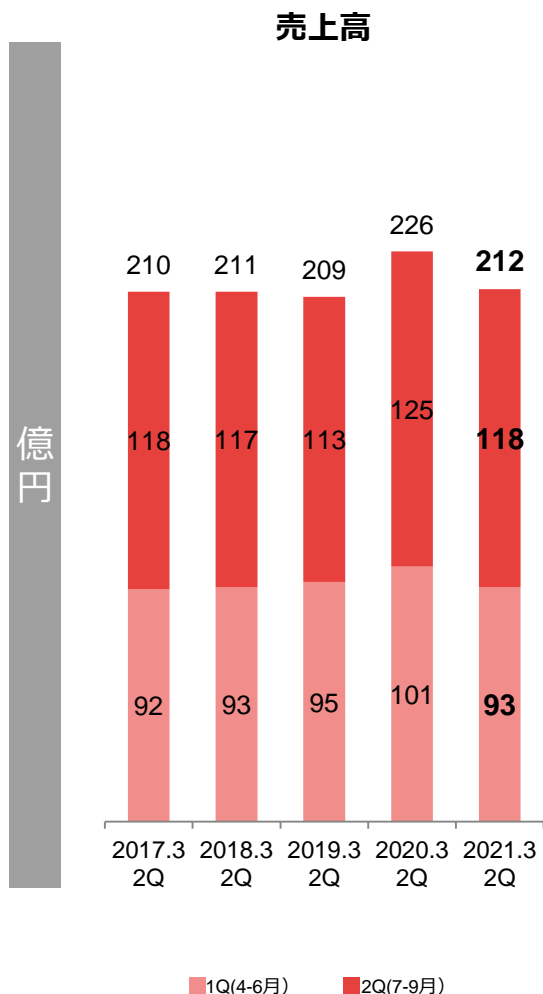
インド・インドネシアなどを中心にCOVID-19の影響が継続し、試薬売上が減少したことにより、減収

- 機器：血液凝固分野に加え、タイにおいてヘマトロジー分野が好調に推移するも、前年同期のオーストラリアにおける搬送システム大型案件の影響などにより、減収
- 試薬：血液凝固分野が伸長するも、検査需要の減少や前年度のデング熱流行の影響などによりヘマトロジー分野を中心に、減収

トピックス

- インド・インドネシアなど引き続きCOVID-19の感染拡大が懸念

(億円)	2021年3月期 2Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	212.7	226.9	93.8%
機器	31.9	46.2	69.2%
試薬	142.8	146.1	97.7%
サービス・その他	37.9	34.4	109.9%



COVID-19の影響や前年同期の大型案件により、機器および試薬売上が減少し、減収

- 機器：前年同期の大型案件の影響に加え、緊急事態宣言の影響による機器導入遅延などにより、減収
- 試薬：COVID-19の影響により、減収

トピックス

- 全自動血液凝固測定装置 CN-6000/CN-3000に凝固分子マーカー測定機能を加えた新製品 CN-6500/CN-3500を発売

2.

2021年3月期 業績予想

2021年3月期 連結業績予想

売上高 3,100億円 営業利益 485億円 営業利益率 15.6%

親会社の所有者に帰属する当期利益 308億円 当期利益率 9.9%

投資計画

設備投資 147億円 減価償却費 257億円 研究開発費 231億円
(有形のみ)

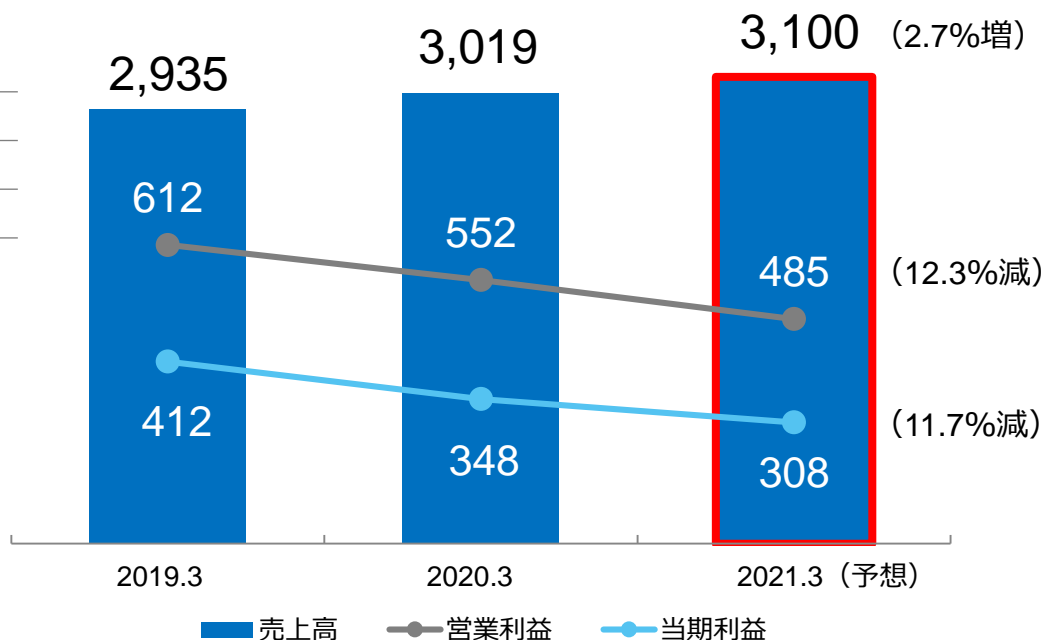
(億円)

● 想定為替レート

	通期想定	下期	前期実績 (20年3月期)
1 USD	106.5円	106.0円	108.7円
1 EUR	121.6円	122.0円	120.8円
1 CNY	15.3円	15.3円	15.6円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	6.1億円	2.7億円
EUR	4.4億円	1.4億円
CNY	53.8億円	36.5億円



下期業績予想の前提条件

- AP など一部地域において試薬売上への影響が継続するも、多くの地域でCOVID-19の感染状況は回復に向かうと想定
- 下期の為替レートは 1USD=106円、1EUR=122円、1CNY=15.3円 と想定

(億円)

	上期累計 (4月-9月)		下期累計 (10月-3月)		通期 (4月-3月)	
	2021.3 実績	前年同期	2021.3 予想	前年同期	2021.3 予想	前年同期
売上高	1,320.8	1,429.9	1,779.2	1,589.9	3,100.0	3,019.8
原価率	49.1%	45.8%	49.3%	48.3%	49.2%	47.1%
販売費及び 一般管理費	380.7	400.3	484.3	435.1	865.0	835.4
研究開発費	97.4	104.6	133.6	113.0	231.0	217.6
営業利益	200.0	278.0	285.0	274.8	485.0	552.8

- ・2020年3月期に対し、同額の配当を予定

	中間	期末	年間	配当性向
2020年3月期	36 円	36円	72円	43.1 %
2021年3月期 (案)	36円	36円	72円	48.8 %

当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

(参考資料)

事業別・品目別売上高

(億円)

事業別	2021年3月期 2Q		前年同期		前年同期比	前年同期比 (前期レート)	
	実績	構成比	実績	構成比			
	ヘマトロジー	801.2	60.7%	894.7	62.6%	89.5%	91.1%
	血液凝固	247.4	18.7%	228.6	16.0%	108.2%	110.3%
	尿	81.6	6.2%	100.3	7.0%	81.4%	82.9%
	免疫	63.2	4.8%	68.5	4.8%	92.3%	93.4%
	生化学	13.1	1.0%	14.1	1.0%	92.5%	93.8%
	FCM事業	5.2	0.4%	7.4	0.5%	70.6%	71.8%
	IVDその他	57.2	4.3%	66.4	4.6%	86.2%	86.5%
	IVD事業	1,269.2	96.1%	1,380.3	96.5%	92.0%	93.5%
	LS事業	51.5	3.9%	49.5	3.5%	104.0%	104.6%
	その他	0.0	0.0%	-	-	-	-
	売上高 計	1,320.8	100.0%	1,429.9	100.0%	92.4%	93.9%

品目別	機器	355.2	26.9%	360.2	25.2%	98.6%	100.6%
	試薬	737.1	55.8%	842.8	58.9%	87.5%	88.8%
	サービス	181.9	13.8%	177.1	12.4%	102.7%	104.0%
	その他	46.5	3.5%	49.7	3.5%	93.5%	95.1%
	売上高 計	1,320.8	100.0%	1,429.9	100.0%	92.4%	93.9%

所在地別実績（売上高・営業利益）

（億円）

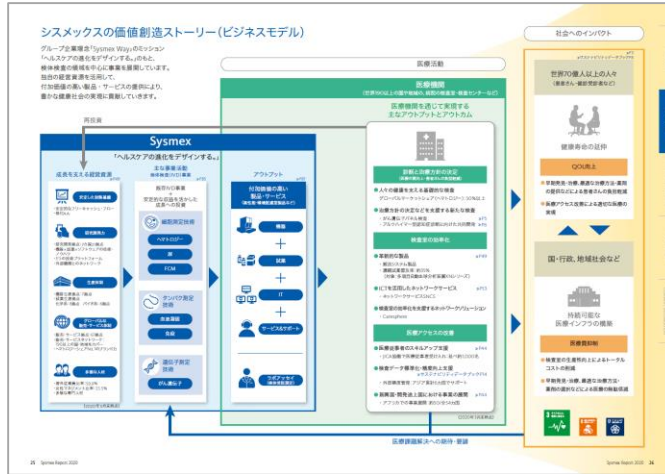
		2021年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
				円貨	現地通貨
米州	外部売上高	272.0	302.6	89.9%	91.3%
	営業利益	3.7	9.5	39.4%	40.9%
EMEA	外部売上高	371.9	381.4	97.5%	97.6%
	営業利益	36.2	38.1	95.1%	94.7%
中国	外部売上高	335.9	373.7	89.9%	92.1%
	営業利益	12.1	41.4	29.2%	29.8%
AP	外部売上高	108.5	124.0	87.5%	-
	営業利益	9.4	16.1	58.6%	-
日本※	外部売上高	232.4	248.0	93.7%	-
	営業利益	129.5	179.0	72.3%	-

※IDEXX社など含む外部売上高

前年同期に対して販管費、研究開発費は減少するも
試薬売上の減少により原価率が悪化し、減益

	2021年3月期2Q (7月-9月)			前年同期	
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比
売上高	715.7	100.0%	△3.9%	744.5	100.0%
売上原価	349.0	48.8%	3.3%	337.8	45.4%
販売費及び 一般管理費	191.5	26.8%	△0.9%	193.2	26.0%
研究開発費	48.3	6.8%	△11.6%	54.6	7.3%
その他の営業損益	3.6	0.5%	△43.7%	6.4	0.9%
営業利益	130.4	18.2%	△21.0%	165.2	22.2%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	81.6	11.4%	△25.1%	108.9	14.6%

(億円)



<https://www.sysmex.co.jp/ir/library/annual-reports/index.html>

トピックス

「シスメックスレポート2019」が、米国2大アニュアルレポートのコンペティションにて受賞

ARCアワード
Traditional Annual Report部門
Grand Winner

VISIONアワード
Annual Report Competition
Gold Winner (世界85位)

シスメックスレポート2019

シスメックスレポート2020



CSRマネジメント

マテリアリティと非財務目標の進捗

2019年4月1日～2020年3月31日までの進捗状況を示しています。2019年4月1日～2020年3月31日までの進捗状況を示しています。2019年4月1日～2020年3月31日までの進捗状況を示しています。

マテリアリティ	非財務目標	2019年4月1日～2020年3月31日	2019年4月1日～2020年3月31日	2019年4月1日～2020年3月31日
顧客への価値創造	顧客満足度の向上	92.7%	92.7%	92.7%
	顧客からの問い合わせ対応	92.7%	92.7%	92.7%
	顧客からの問い合わせ対応	92.7%	92.7%	92.7%
	顧客からの問い合わせ対応	92.7%	92.7%	92.7%
社会への貢献	社会貢献活動の実施	100%	100%	100%
	社会貢献活動の実施	100%	100%	100%
	社会貢献活動の実施	100%	100%	100%
	社会貢献活動の実施	100%	100%	100%

<https://www.sysmex.co.jp/csr/report/index.html>

Lighting the way **with diagnostics**